



公明党

中村 文明

移動期日前投票所の設置を 12



**問**投票所まで行くのが難しいとの意見を聞くが、高齢者など、投票所へ行くのが難しい人への移動支援や移動期日前投票所の設置についてどのように考えているか。

**答**選挙管理委員会事務局長 投票所に行くのが難しい人への移動支援や移動期日前投票所の設置は投票環境の向上につながると認識している。しかしながら、移動支援や移動期日前投票所の設置には、選挙ごとに経常経費が発生することや、対象地域や対象者の基準の設定、場所の選定など慎重に検討する必要がある。他市の状況等を踏まえ、移動支援、移動期日前投票所について調査研究していきたいと考えている。

📌投票啓発と投票環境向上 📌子どもの居場所づくり



公明党

田畑 たき子

安全・安心なまちづくり 14



**問**他市では防犯カメラ付きの自動販売機等も増えており地域の安全・安心を守るため、防犯カメラの設置促進は必要と考えるが市の考えを伺う。

**答**市民部長 防犯カメラの設置を促進することは、犯罪の予防や抑止および事件、事故の早期解決につながり、市民の安全安心の確保に寄与するものと認識している。

防犯カメラの設置促進については、市の補助制度の創設について引き続き慎重に検討を進めるとともに、埼玉県警察と連携し、防犯カメラ付き自動販売機の設置促進に向けた周知啓発等に努めるなど、防犯対策を推進していきたいと考えている。

📌地域の見守り



初雁自由政令会

小高 浩行

農業公社などによる支援を 16



**問**令和3年の一般質問で農家の支援方法として、農業公社のような組織事例を提案したが、その後の考え方はどうか、市の見解を伺う。

**答**産業観光部長 農業公社で行われている、農業機械のリース事業や農作業受託事業は、効果的な支援であり、農地の維持と農業経営の継続への貢献という点で大きな役割を果たしていると考えます。

一方で、運営面において、財源の確保などの課題も見受けられ、本市としては、今後、地域計画を策定する協議の場などを活用し、地域農業の在り方など、農業者や関係機関の意見を聞いていきたいと考える。

📌農業振興計画改訂版



公明党

桐野 忠

利便性の高い公共施設に 13



**問**障がい者や高齢者も含め多くの声を聴きながら、利用しやすい公共施設を目指すべきだが、誰もが利用しやすい公共施設に向けた市の今後の取り組みについて伺う。

**答**栗原副市長 必要な設備の不足や使い勝手が悪い場合があることは認識している。誰もが利用しやすい施設を造るため、ユニバーサルデザインの考え方に基づき多様なニーズを反映させることが必要であると考えている。このため、川越市公共施設等総合管理計画の基本方針に基づき、誰もが利用しやすい施設となるように努めていきたいと考えている。そのためには利用者の声を改善につなげる仕組みも検討する必要があると考えている。

📌コロナ5類移行後の対応 📌利用しやすい公共施設



川越志政会

中野 敏浩

農地の有効活用 15



**問**農地の有効活用については、営農者の所得向上を目指した対策が必要である。営農基盤である農地の有効活用について、今後の市の取り組みを伺う。

**答**産業観光部長 基幹的農業従事者数の減少が続いているため、人・農地プランを実質化し、地域計画に反映することで、担い手への集積や、ほ場整備による農地の面的集約など、農業の生産性の向上を図っていく。併せて、営農者が安心して農業を続けていけるよう、水路や農道等の農業生産基盤の維持管理や更新を基幹的農業従事者だけでなく、副業的な農業者を含めて地域で担えるよう、多面的機能支払交付金の取り組み等を支援していく。

📌農地の有効活用



参政党

加藤 みなこ

屋外公衆トイレの管理 17



**問**きれいなトイレや防犯対策がされているトイレは犯罪の発生率が低くなることから、今後の防犯対策等について市の考えを伺う。

**答**市民部長※ 本市における公共施設等の防犯対策については、川越市防犯のまちづくり基本方針に基づき、公共施設等における防犯性の向上や防犯対策器具の有効利用と普及のための各種施策を推進している。

今後の屋外公衆トイレの防犯対策は、施設管理者の判断で適切な防犯対策を進める必要があると考えている。

また、維持管理は、所管部署により快適で利用しやすい環境となるよう努めていく必要があると考えている。

📌屋外公衆トイレ

📌子どもの居場所支援対策